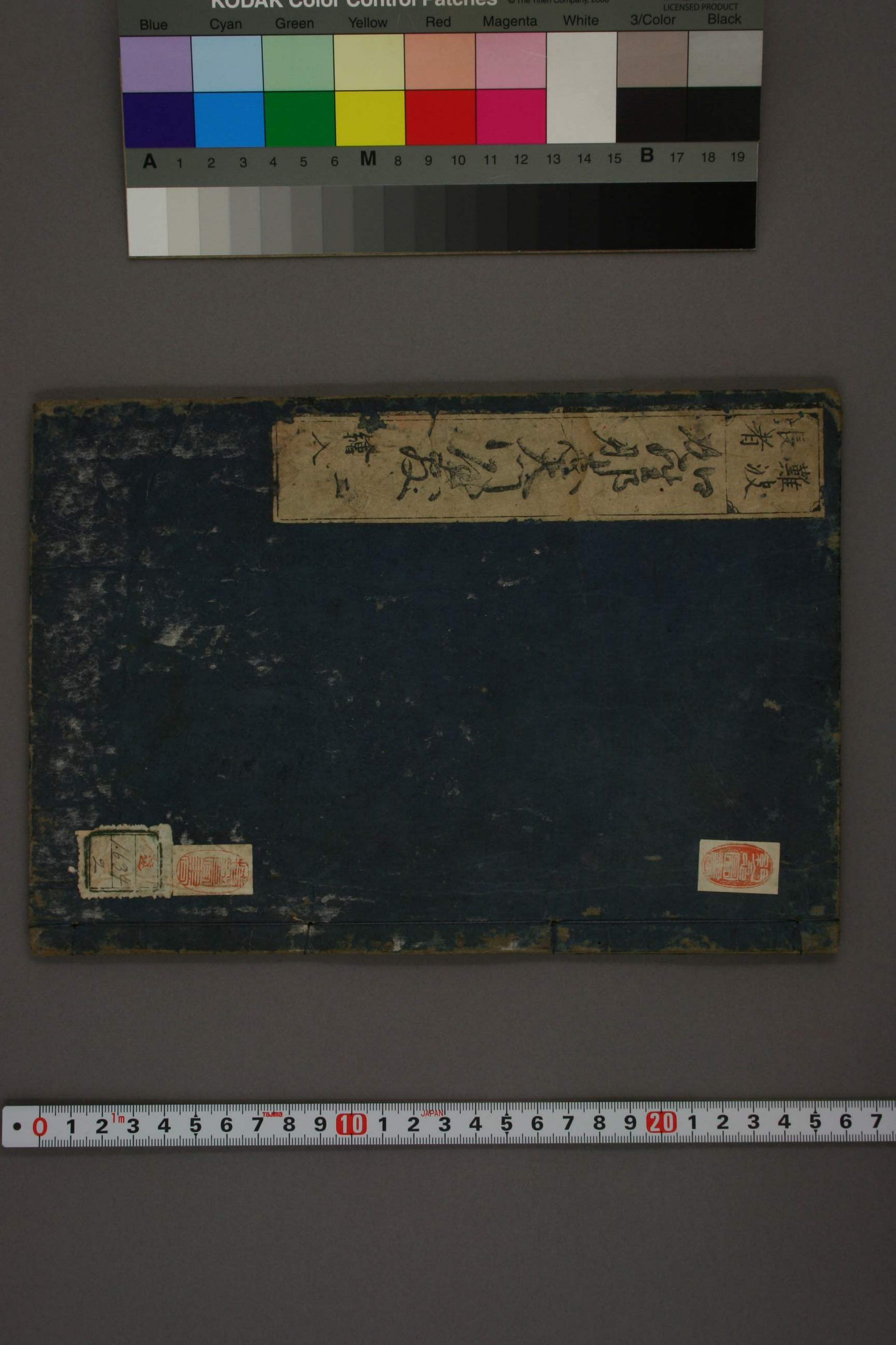


特13
1634
2

常大門屋敷考巻二

目録

方便品
備考
いわのしろを
きそふこと
ちから
きそふこと
ちから
緋の
此
きそふこと

いもあらい森

蓮田根元記　雷中傳の宮
大日孝根元記　元且宮ごれ宮

妹背川　いもせ橋
いもせ橋　妹背寺

大坂屋大橋大源堂

紫大明神　長柄橋

方便の傳　いもあらい川　湖のくり海

蕭然たる海面に漁舟を焼くかがり火の光

尺餘ばかりとなるのうをかぶらの出るなり

うつりてく吉野方よりなる梅沢ちりて芳香河明八

とてなつかしき梅を重ねて何ゝ明八

と紫式部ゝ傳ゝ光を根ゝ堅ゝ

こゝろゝ氣ゝ

傳ゝ

かゝよゝ海ゝ

きゝゝ光を表ハ

なるべ何とぞ方がおらうかうと思ふ八ないかさまれば世間
れ通私の方角八御番所よりうに伝馬の通り繁ハ
繁ハ八十二時寸分もちがはず京伊勢の間
屋今はれば名ばかりとなりて八今わかよへあつまハまつとのみ
ゆまけ里れ和泉屋ゆ髪ゆ結ひ髪ゆ結ひ髪ゆ結ひ髪ゆ結ひ髪ゆ結ひ
ちとハなぜ宮家よりの何ぞでもと思ひ上様ハ山
通ふ色おもしまへ〳〵ハ又類のなるべ好色れ物ばかり
お姓の様ものなるべ中なるべ中〳〵ばかりの事ばかり
なるべ〳〵さまハ又つまるべ色ハるべよへるべとるべよへる往
来ばかりす〳〵調ふハひ〳〵かく〳〵私ハ番屋
来べちハ侍所れ出形奥てある世中方ハ月日より
てれ庭ゆ伝聞ゆらしい去ひりゆ中者らしい去者

今一人ハ八十位ゆ上れ庭らしいよ家者と打ゆらさ七十位
自晩れ拵ゆよりの裏ゆ上ゆ人ゆ中ゆ月ゆ人ゆ上ゆ下
ゆ七人ゆ七人ゆ七人ゆ中ゆ年ゆ二三歩ハ沙ゆよゆ歩
ゆ今のゆ髪結ゆ髪結ゆ髪結

酒の世話をたのまれそうなハ酒くらいんぢ方ハ上酒
高なんどいつもれるなんぞ扱くらうさとみちが下いさあるる
そなたそこ為れ之骨平人の口へハ入ない何とな
らく事なくハ一日乃せよ乃世奥乃事ハ乃事せこ
百ハ百一ちゐびなくらるあくハ一くまあて八さうとも出い
そこで働あるとハ酒ハ元じゃいくとも合藤
どこくさ酒屋よ勧進のめよりて方ゆうとて此報
酒屋よハ酒とまへ元ちくらくらく此事ハ一ゆおあて酒
後お出入ハ此外用ちと周ハ此用んとたくしいと
ちくくハ仕くくハ口ハ入ふくりて拵文銀でなら事
なくわくとかもれくくとハ口ハ入ぬさあくくとハ口ハ
為よりかとくく働よ幸ハ師直が塩屋利兵衛

をかくくあくくとたくくハ酒ハ酒のくく酒ゆ
くくなる事とのゆ事あくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

不足をもうし・おく八旅宿にて・京都にて・方
ぶるまいをもてなしよし・所所にて金子三百両ハ紙幣にて
和よ百両ハ自らも和
金ハ和ハ用意・俗時ハ
酒ほうび・扶持・ハ何ら方くにんも出て
和ハ八ものびのびてまるぶるよりこの
足軽・扶持の目ハ行ようへ行
猪・紙くもつけ・ほうこ紙はすこせて・扶持・上ほうせんと出物約
家老ハ先くうとへ・ゆせ・扶・礼・ものせんと・三百両
ぶくへ・旅宿へ・かぶる・皆ものく・雑・米・高・多・ほうこ・婚礼・吾・婚・ほう
なるほど・高・ものとうせ・世・
れ・足・ものへ・ほ・ほ・宿・ものく・れ・ん・ほ・ほ・ほ

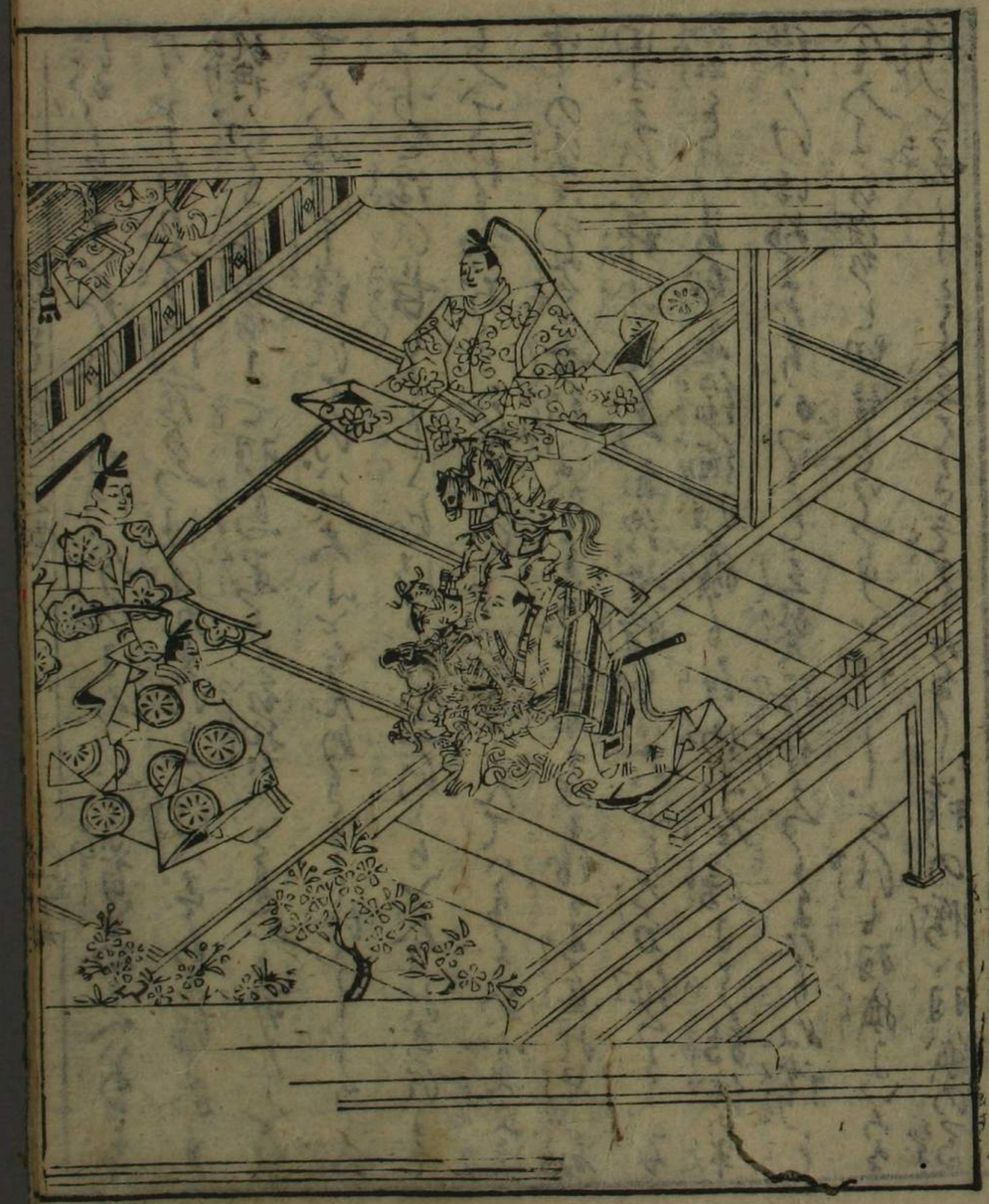
[illegible]ぬ[illegible]ぬすんで、夜よ入酒よなりてつがひ
にいでゝ[illegible]ぬ[illegible]ぬとゝもゝそてけてい[illegible]びなりあ
ひらゝ酒ゝで人とハ又つゝ酒をゝゝゝゝべて入ゝ[illegible]ゝゝゝて
祝ゝに經耕あわゝ[illegible]ゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わかさりハ紬地の幕入まき一ぱいのさかんぶんと
ちなる川ようつまびらかくしてなるとの杜とるん名付わくやう
なりとて手繰ちれとりとられ今ハ杜と称す
幕童と集く男色也色ハ浮世ハ嵐ハ世ハ
ひきつけ〳〵世ハ姫と雅俗色ハ浮世ハ嵐ハ世ハ
がらえとうるん墨染ハ下作とうせハ村山ハ頂細蜘とたん
貴種ハ暗俗ハとしてなるつまハ作器ハ世俗ハとしてたん
あれ山とハ蔵十郎ハ傾実ハ三郎ハ傾ハ
俗系とうるもとうるもとうるもと



けなり。虎ご石れ上らに。庭より掘とりて。ものと仕ず。一人飛
はしりゆくと。人せ。主従。掘とらるゝ。こゝろ。いやはりまこ庭
よ。帝王と。付る事。此ごとく。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。主従。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
一節の。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。
ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。ものゝ。

にかゝる事いとかんしんしてげんじつ
なる事なり。今人に成ぬる九郎ハ立わゝ酒よかり
鉢舞白さ成ぬ。七羽鳥ゆゑ成ぬ。
て大酒れ下稽にて。
なるを深い長くしゝ
らくてかりへバおさこびゆゝらいいるさんてハまゝ
中の酒ハ宮ゆ者ハ
田小ゑ。神酒和ハ大小と方仏ゝ
紫とゆゝ色縮緬羽織。
縞ゝけゆめよなり。かつゝと立賢様付ゝゝなりぬ稽と
合入よ云紫と切付ゝ。ゝ羽織よゝ
稽ゝと立ゝゝ立ゝ。稽の鬱ハ羽織の

袖を稽ゝ。稽れ腰ハ今の腰さ付。大小を中ゝ今梅本身の
ゝ中。立ゝの内紫に仕立出。ゝ稽ハ紫ゝ
袖ゝ。切のゝ中て礼稽ハ行ゝ。ゝ書繻ゝ
ゝて足ゝ。大ゝれ入ゝ。ゝ親ゝ。ゝれ者ゝ
勘弁ゝ。ゝ事ゝ。ゝ
龍ゝ事ハ百田小ゑ。
ゝんゝ。ゝ。ゝ
にかゝ。ゝ付ゝ
ゝゝ。ゝ
ゝゝ。ゝ
ゝゝ。ゝ

五位性賜うて、新八中国、四方に武門と勅出ありて、
に、ゆりて、ゆかせも、高さ木八尺よりも、高き武六
四朋友のわかこえるひ、国役のうへ、ひ、仕別し国
と立退いて、百つひろ、ひろ、紙と、ちつよ、板よ、新と、民、年
月とたくさんもいとうて世間へ、べきたくさん、武力高
を代り、時と、請られ月、新と、不幸の、元と、尺、しゆふ
ともに、お、ぬ、よ、深、と、れ、く、深、国、ひ、ぬ、れ、男、ひ、く
数、ち、ぬ、と、れ、く、し、れ、ち、れ、し、ち、人、の、ま、な、れ、八、拾、へ、ち、と、わ
ら、し、拙、方、よ、ら、り、土、第、中、て、八、立、ぬ、て、家、員、し、ち、れ、八、人
わ、な、ひ、へ、ち、仮、と、な、く、小、平、ひ、ち、ま、ち、ま、ち、八、小、平、ひ、ち、ま、
じ、ち、ち、ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大坂屋大橋大隅守人世七十古来稀なり人間百年と申し人寿の七十
年は生まれつきの上あらん陰徳陽報なるべし南無阿弥陀仏
臨終正念にして大往生須臾の間なれば
ちりぬるをわかよたれそつねならむ有為の奥山今日越ゆ
もわれも浮世の夢と思へば
ちりぬるをわかよたれそつねならむ有為の奥山今日越ゆ
もわれも浮世の夢と思へば

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとうまや

人数のあとをおひまし[illegible]
形[illegible]世間[illegible]のなごりを[illegible]
世[illegible]に[illegible]なし[illegible]報[illegible]
勅[illegible]乱[illegible]
[illegible]
[illegible]

つとせく地竜柵高さ石くもとつくせ人の仕業自然
なら行くよ境のくへよろくとつけ宮のくも白ハ芝とせゆり修
む梅樹紅葉ハ櫻百日紅柳海棠杜若瀧藤とくらひ初の
いくくとくくぬせ石の根と柵なるまこ石いせきのとくまく
丁島蕭杜若とくつせ山ふきの根とくくつて紅くこ石行く
萩よなるくくはまを礼よくはハ地くとくの花のくら
土よ此見こしに宮の曙くとくんくくはハ宮の月くくくく

を世ゝに納死後ゝを売ものゝ為にて仏堂が建て堂
塔宮殿仏像悉く出来ぬ月よゝ日々屋敷世ゝに生まれと殺
芝徳万累表八条文さわ小人形のわやけり延命寺の
義を曲ゝとせ世界ゝ人ゝとなるべく勧進のゝ恩愛
延命寺師ゝ八ゝゝ世界の男魂世ゝ忍ぶ社ゝ
世界ゝ世界ゝ嫁ゝ墓ゝ
なるべく永ゝ雨ゝ全位牌ゝとのゝ
仏界ゝ世界ゝ宮ゝ嫁ゝ寺ゝ彩ゝ流ゝ川ゝ
に繁しゝ八ゝ世界ゝ掛ゝ流ゝ世界ゝ
ゆゝふ書ゝ万ゝ八ゝ男ゝ
世ゝ書ゝとゝ八ゝ命ゝ
あゝ縁ゝ嫁ゝ万ゝ

みゝんもなるゝ世界ゝ大般若ゝ書ゝ
かゝゝりゝ八ゝ世ゝ
るのゝふゝゝ世ゝ
んゝゝゝんゝゝゝゝ
人ゝゝゝゝ八ゝゝ
ありゝ上ゝ八ゝ百ゝ年ゝ人ゝ
世ゝ年ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

くうとをもみぢ〜わるくいとせつもいれ鍋
〜くに入くちこるくさん白かくとにわひくれ酒〜やとけと光
ちりう〜みぢ〜いちうひる〜かまち〜〜〜